

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 秋葉会

障がい者支援施設 八太郎山療護園	TEL 0178-21-1178 FAX 0178-20-1013
児童デイサービスセンター 希望ヶ丘	TEL 0178-21-1262 FAX 0178-20-1013
	〒039-1161 青森県八戸市河原木字八太郎山 3-138
居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家 そうだん室	
八太郎山の家 ヘルパーステーション 八太郎山の家 訪問看護ステーション	
障害者向け住宅・有料老人ホーム 八太郎山の家	TEL 0178-21-2238 FAX 0178-20-6767
	〒039-1161 青森県八戸市河原木字八太郎山 3-140
デイサービスセンター 桔梗野の家	TEL 0178-21-3562 FAX 0178-20-3196
グループホーム 桔梗野の家	TEL 0178-21-3561 FAX 0178-20-3196
	〒039-2241 青森県八戸市市川町字桔梗野 15-7
障がい者デイサービス 根城の家	TEL・FAX 0178-79-5642
	〒039-1166 青森県八戸市根城六丁目 19-5
障がい者デイサービス リアンジュ	TEL 0178-51-6137 FAX 0178-51-6738
多機能型通所支援事業所リアンジュ	TEL 0178-51-6138 FAX 0178-51-6738
	〒031-0812 青森県八戸市湊町字下大久保道 17-11

目 次

I	法人総括	
II	事業成果の内容	
III	法人設置経営者	
IV	法人事業の沿革	
V	法人施設並びに事業所の概要	
VI	法人役員会等の状況	
第1表	職員研修の状況	
1	外部研修状況	1
2	内部研修状況	2
3	各種会議状況	2
第2表	障がい者支援施設 八太郎山療護園	
1	生活相談	3
2	生活支援	6
3	医療状況	11
4	機能訓練実施状況	14
5	給食緒状況	15
第3表	短期入所部門 八太郎山療護園	
1	利用者諸状況	18
第4表	児童通所部門 児童デイサービスセンター希望ヶ丘	
1	利用者諸状況	19
2	年間行事	19
第6表	居宅介護支援・相談支援部門 八太郎山の家そうだん室	
1	利用者諸状況	20
第7表	ヘルパー部門 居宅介護・訪問介護 八太郎山の家ヘルパーステーション	
1	利用者緒状況	23
第8表	訪問看護部門 八太郎山の家訪問看護ステーション	
1	利用者諸状況	24
第9表	障害者向け住宅・有料老人ホーム部門 八太郎山の家	
1	入居者諸状況	26
2	年間行事	27
3	給食諸状況	28
第10表	老人通所部門 デイサービスセンター桔梗野の家	
1	利用者諸状況	30
2	運営推進会議開催状況	31
3	年間行事	31
第11表	認知症対応型共同生活介護部門 グループホーム桔梗野の家	
1	利用者諸状況	33
2	年間行事	34

第 12 表	生活介護部門 障がい者デイサービス根城の家	
1	利用者諸状況	36
第 13 表	地域生活支援部門 日中一時支援 八太郎山療護園	
1	利用者諸状況	38
第 14 表	地域生活支援部門 日中一時支援 児童デイサービスセンター希望ヶ丘	
1	利用者諸状況	39
第 15 表	生活介護部門 障がい者デイサービス リアージュ	
1	利用者諸状況	40
第 16 表	児童通所部門 児童デイサービスセンター希望ヶ丘	
1	利用者諸状況	42

I 法人事業総括

令和4年度も新型コロナウイルスによる影響により行動制限等を受けることとなったが、3月にはマスク制限が解除されコロナ前の状況へ近づく可能性を感じる年度末を迎えた。5月には感染症の分類が2類相当から5類になる予定となっており、新しいフェーズとなることをとても期待している。3年間の行動制限、イベントの中止、マスクによる対人関係の希薄さ等が少しずつでも解消されていくことを願う方が多いと思われる。ただし、医療機関および福祉施設等においては、マスクが推奨されることから仕事中は外すことが無いため、職員同士の交流会を推し進めていきたい。

当法人は基本理念「主観的幸福感の追求」に基づき、利用者主体の「普遍化」と「個別化」を基本としたサービスの提供に努め、社会福祉法人としての使命、地域の社会福祉施策の一翼を担う存在としてその役割を遵守した。今後もその方針は継続しつつ、一方で新たな収益源、人材確保の手段を模索し、経営基盤の一層の強化を図りたい。

新年度もさらなるサービスの質の向上、地域への貢献を目指し、介護保険法並びに障害者総合支援法の法改正等への迅速な対応能力を高め、社会的貢献性のある現存事業の拡大や地域に必要とされる新たな事業展開を視野に入れながら、法人全職員が一致団結して、よりいっそう職務に精進していく所存である。

II 事業成果の内容

1. 法人の基本理念と基本方針の再確認について

職員に対しては施設内研修、新規学卒並びに中途採用者に対してはオリエンテーションを通じて周知に努めた。今後も機会ある毎に折にふれ、継続した周知徹底を図りたい。

2. 法人職員の明るい環境作りについて

老人福祉事業並びに障害福祉事業のいずれにおいても、それぞれの現場における問題提起とその改善策についての話し合いの機会を設け、その結果が現場に反映されるよう努めた。また、福利厚生の一環として法人職員親睦会にて企画した職員旅行の実施と職員の心身のリフレッシュの機会となるよう連続有給休暇の取得促進を図った。

3. 介護保険制度並びに障害者総合支援法の調査研究について

毎月、法人内施設・事業所の所長クラス並びにレセプト担当職員にて構成する「運営会議」を開催し、それぞれの施設及び事業所の毎月の利用状況についての報告の機会を設け、介護保険並びに障害者総合支援法の法改正を見込んでの具体的な経営運営上のシミュレーションを行い、経営上の課題分析や事業運営についての検討を図った。

4. サービスの質の向上・充実について

提供サービスの質の向上を目的とし、事例研究に取り組んだ。自主性を重んじ希望者を募り、障害福祉事業部門においては発表会を行った。また法人内施設・事業所・部署毎に毎月、施設内研修を実施し、老施協並びに身障協等で主催する施設外研修についても可能な限りの参加を推進した。特養、デイサービス、グループホームおよび障がい者支援施設のいずれについても介護相談員又はオンブズマン（第三者委員）の毎月の受け入れ、さらに青い空、桔梗野の家のグループホームについては、県老施協の外部評価、そして全施設・事業所において、介護サービス情報の公表制度の受け入れ・実施を図り、ケアサービスの向上に向けての職員の動機付けを行い、業務改善並びに新しい取り組みについて実施、充実に努めた。

5. 地域福祉交流の促進について

老人福祉事業部門、障害福祉事業部門のいずれも保育園児を対象とした行事の余興依頼、小中高生並びに近隣住民を含む一般ボランティアの積極的な受け入れと地域行事に対して職員のボランティア派遣、施設建物の無料開放等、例年同様に福祉施設の理解の拡充に努めた。今後も法人各施設並びに事業所について地域コミュニティのさらなる発展に貢献できるよう地域住民とのより一層の積極的な交流を図りたい。

Ⅲ 法人設置経営者

社会福祉法人 秋葉会 理事長 高橋 秀 磁
法人本部 青森県八戸市大字河原木字八太郎山3番138

Ⅳ 法人事業の沿革

平成 04 年 03 月 30 日	社会福祉法人秋葉会設立認可
平成 05 年 04 月 01 日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ開設（50名）
04 月 01 日	” ショートステイ開設（04名）
平成 05 年 07 月 01 日	デイサービスセンターサンポエム開設（B型）
平成 12 年 02 月 01 日	彩香園アルテリーベ訪問看護ステーション開設
04 月 01 日	彩香園アルテリーベ居宅介護支援事業開設
06 月 01 日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員30名）
10 月 23 日	グループホーム青い空開設（09名）
平成 14 年 04 月 01 日	彩香園アルテリーベ在宅介護支援センター開設（旧上北町委託）
04 月 01 日	デイサービスセンター桔梗野の家開設（1日の利用定員20名）
04 月 01 日	グループホーム桔梗野の家開設（09名）

04月01日	居宅介護支援事業所桔梗野の家開設
06月01日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員35名）
平成15年05月01日	〃（1日の利用定員40名）
10月01日	身体障害者療護施設八太郎山療護園開設（40名）
10月01日	〃 ショートステイ開設（04名）
10月01日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘開設（1日の利用定員10名）
平成16年07月01日	身体障害者療護施設八太郎山療護園ショートステイ定員増（06名）
平成17年05月10日	八太郎山居宅支援センター開設 （障害者ショートステイ8名、障害者デイサービス1日の利用定員15名、障害者向け住宅30部屋、居宅介護・訪問介護事業）
05月10日	八太郎山居宅支援センター訪問看護ステーション
平成17年06月01日	八太郎山居宅支援センター ショートステイ定員増（16名）
06月16日	居宅介護支援事業所桔梗野の家、八太郎山居宅支援センター内へ事務所移転
平成18年04月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ ショートステイ定員増（14名）
04月24日	デイサービスセンターサンポエム移転（本体建物増築）
10月01日	彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション開設
10月01日	身体障害者向け住宅 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ1号館開設（20部屋）
平成19年04月01日	居宅介護支援事業所桔梗野の家 グループホーム桔梗野の家内に事業所移転
平成20年03月09日	身体障害者向け住宅 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ2号館開設（4部屋）
平成23年10月01日	八太郎山療護園 障がい者支援施設（生活介護・施設入所支援）へ移行
平成24年04月01日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 放課後等デイサービスへ移行
平成24年07月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ増床（52名）
平成25年09月01日	グループホーム青い空増床（18床）
平成26年06月01日	八太郎山療護園 特定・障害児相談支援事業
平成27年08月01日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘開設（10名）
平成28年12月15日	障がい者デイサービス根城の家開設（20名）
平成30年05月01日	名称変更 八太郎山居宅支援センター ⇒ 八太郎山の家（住宅・有料老人ホーム） 〃（ヘルパー） ⇒ 八太郎山の家 ヘルパーステーション 〃 訪問看護ステーション ⇒ 八太郎山の家 訪問看護ステーション 移転および名称変更 居宅介護支援事業所 桔梗野の家 八戸市市川町字桔梗野15-7 相談支援事業所 八太郎山療護園 八戸市河原木字八太郎山3-138 ⇒ 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家 そうだん室

八戸市河原木字八太郎山 3-140	
令和 01 年 05 月 01 日	八太郎山療護園日中一時支援事業開設（委託：八戸市、他）
令和 02 年 06 月 01 日	八太郎山療護園生活介護定員増（50 名）
令和 03 年 01 月 01 日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 児童発達支援事業開設
令和 04 年 01 年 31 日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘休止
令和 04 年 02 月 01 日	障がい者デイサービス リアンジュ開設（20 名） 多機能型通所支援事業所リアンジュ開設（10 名） 八太郎山療護園生活介護定員増（60 名）
令和 04 年 06 月 30 日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 児童発達支援事業廃止
令和 04 年 09 月 30 日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘廃止

V 法人施設並びに事業所の概要

名 称	敷地面積	建物面積
特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ	18,637.51 m ²	※3,162.72 m ²
デイサービスセンターサンボエム		
グループホーム青い空		596.64 m ²
コレクティブハウス彩香園アルテリーベ		802.42 m ²
デイサービスセンター桔梗野の家	1,346.00 m ²	243.46 m ²
グループホーム桔梗野の家		283.21 m ²
八太郎山療護園	19,076.09 m ²	※2,320.13 m ²
児童デイサービスセンター希望ヶ丘		259.00 m ²
八太郎山の家		※1,945.28 m ²
八照庵（八太郎山療護園生活動作訓練棟）		183.00 m ²
児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘	265.42 m ²	123.65 m ²
障がい者デイサービス根城の家	453.81 m ²	833.98 m ²
障がい者デイサービス リアンジュ	1,559.00 m ²	585.87 m ²
多機能型通所支援事業所リアンジュ		

※はいずれも機械室を含んだ面積

VI 法人役員会議等の状況

開催月日	区分	議題・内容	備考
4月8日	理事会	第1号議案 令和4年度第1次補正予算(案) 第2号議案 福祉車両購入について	書面決議 理事6名 監事2名賛成
6月10日	理事会	第1号議案 令和3年度決算(案) 第2号議案 令和3年度事業報告書(案) 第3号議案 令和4年度第2次補正予算(案) 第4号議案 法人諸規定の一部改正(案) 第5号議案 物品購入等の契約 第6号議案 運営規程の一部改正について 第7号議案 定款変更について 第8号議案 令和3年度下半期理事長等業務執行状況報告 第9号議案 定時評議員会開催	出席者6名 (監事1名) オンライン
6月25日	評議員会	第1号議案 令和3年度決算(案) 第2号議案 令和3年度事業報告書(案) 第3号議案 令和4年度第2次補正予算(案) 第4号議案 法人諸規定の一部改正(案) 第5号議案 物品購入等の契約 第6号議案 運営規程の一部改正 第7号議案 定款変更	出席者6名 欠席1名 (理事5名、監事1名)
8月18日	理事会	第1号議案 児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘の資産売却 第2号議案 令和4年度第3次補正予算(案) 第3号議案 物品購入等の契約 第4号議案 評議員会の開催	出席者6名 (監事2名) オンライン
8月27日	評議員会	第1号議案 児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘の資産売却	出席者7名 (理事5名、監事2名) オンライン
8月18日	理事会	第1号議案 定款変更認可申請	書面決議 理事6名・監事2名賛成
9月12日	評議員会	第1号議案 定款変更認可申請	書面決議 評議員7名賛成
11月4日	理事会	第1号議案 令和3年度第4次補正予算(案) 第2号議案 工事・物品購入等 第3号議案 令和3年度上半期理事長・常務理事業務執行状況報告	出席者6名 (監事2名) オンライン

3月14日	理事会	第1号議案 令和4年度第5次補正予算(案) 第2号議案 令和5年度事業計画書(案) 第3号議案 令和5年度当初予算(案) 第4号議案 令和5年度役員報酬(案) 第5号議案 法人諸規定の一部改正(案) 第6号議案 物品購入等 第7号議案 評議員会の開催 第8号議案 デイサービスセンター桔梗野の家の休止	出席者6名 (監事2名)オンライン
3月25日	評議員会	第1号議案 令和4年度第5次補正予算(案) 第2号議案 令和5年度事業計画書(案) 第3号議案 令和5年度当初予算(案) 第4号議案 令和5年度役員報酬(案) 第5号議案 法人諸規定の一部改正(案) 第6号議案 物品購入等 第7号議案 評議員会の開催 第8号議案 デイサービスセンター桔梗野の家の休止	出席者7名 (理事5名、監事1名)オンライン
5月27日	決算監査	理事・評議員の業務執行状況、法人財産状況、事業報告	監事2名による
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は理事会6回並びに評議員会4回開催し、予算、決算、人事、運営状況等についての承認を諮った。 ・内部監査についても、会計事務所の指導により速やかに行われた。 			

第 I 表 職員研修の状況

1 外部研修状況

日 程	研 修 名	研 修 先	参加職員
4/29	子どもに関わる OT のための養成講座	オンライン	川戸
6/9	社会福祉施設職員経理研修	青森県立保健大学	大久保
6/22-7/1 7/9-22	喀痰吸引研修	青森県民福祉プラザ	高橋、小柴、田村 大橋
7/4、8/5	自閉症支援者セミナー	オンライン	神山、工藤、田村
7/8	医療的ケア児支援普及啓発研修	青森リクスーション	工藤
7/13	認知症介護実践研修	オンライン	畠山、櫻橋
7/16-17	医療的ケア児等支援者養成	オンライン	和田
7/28	改正育児・介護休業説明会	オンライン	高橋、大久保
7/28-29	災害福祉支援チーム研修	アスパム	佐々木
8/15	相談支援従事者初任者研修	オンライン	畠山、久慈
8/17-18	防火管理講習	八戸消防本部	田端、大久保
8/22	子どもの発達支援ガイドブック活用研修	オンライン	木村
8/24	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	オンライン	田端
8/27.9/28	地域で出来る在宅医療と看取り研修	津波防災センター	田村、片桐、高清水
8/31.10/5	リーダーの為のスキルアップ研修	ワ・ラッセ	西村
9/6	介護支援専門員専門研修	オンライン	中島
10/3./17	東北ブロック身障協職員研修	オンライン	佐々木、須藤、根城
10/5-6	認知症対応型サービス事業管理者研修	オンライン	中野渡
10/27-28	福祉職員キャリアパス研修	オンライン	川崎
11/12	サービス管理責任者基礎研修	アラスカ会館	畠山、久慈
11/16	福祉サービス苦情解決関係者等研修	オンライン	須藤、菅野
11/27	医療的ケア児支援フォローアップ研修	アスパム	工藤
11/29	看取り研修	青森福祉プラザ	田端、小森
11/30	介護記録研修	青森福祉プラザ	田村
12/1-2	中堅職員スキルアップ研修	ワ・ラッセ	三浦、若林
12/2	メンター育成研修	八戸友の会福祉会館	木村、工藤、新堂
12/17	介護従事者研修	オンライン	金沢
12/17-18	サービス管理責任者更新研修	アスパム	橋本、清水
12/28	主任介護支援専門員研修	オンライン	中島
1/4	障がい福祉合同研修会	オンライン	中島
1/8	包括的支援事業研修	オンライン	竹田
1/23	東北ブロック身障協職種別研修	オンライン	大久保、須藤、田端
1/28	啓発講演会セミナー	オンライン	大野

日程	研修名	研修先	参加職員
2/15	「リハビリ」実践報告会	ホテル青森	畠山
2/16	意思決定支援研修	青森福祉プラザ	松本、須藤
2/17	障がい者雇用納付金説明会	八戸職業訓練センター	大久保
2/22	住宅改修・福祉用具「バイザ」研修	オンライン	竹田
3/4-5	サービス管理責任者実践研修	アラスカ会館	神山
3/10	東北ブロック身障協施設長会議	オンライン	石和
3/28	青森県身障協施設長会議	オンライン	石和

2 内部研修状況

日程	研修内容	講師又は担当	参加人数
4/21	倫理及び法令遵守・個人情報・ 守秘義務・メンタルヘルス	佐々木輝樹・風穴恵美	療 25、希 4、根 1、リ 6
5/19	接遇マナー	川崎大	療 22、希 4、根 3、リ 10
6/17. 20. 21. 28	看取りケア	向井照美	療 38、へ 7
7/14	食中毒予防	畠山裕介	療 25、希 5、根 4、リ 8
8/18	認知症対応	川崎大	療 12、希 5、根 5、リ 6
8/25	虐待防止・身体拘束の排除	田端麻理子	療 17、希 3、根 5、リ 7
9/7	食中毒予防（厨房）	村山宗久	療 5
9/15	緊急時対応・普通救命救急	畠山裕介	療 22、根 6、希・リ
10/20	非常災害時対応	畠山裕介・田村大嵩	療 20、希 3、根 5
11/7	コロナ発生シミュレーション・ 机上シナリオ	畠山裕介	療 23
11/17	医療的ケア	風穴恵美	療 22、根 7、リ 11
12/15	看取り「平穏死」	田端麻理子	療 16、希 3、リ 6、根
2/7	労働災害予防・転倒予防	橋本将・川崎大誠	療 20
2/23	腰痛予防・ハラスメント防止	橋本浩幸	療 22、希 5、根 4、リ 3
2/23	リーダーシップ研修	田端麻理子	療 10、希 1、根 1、リ 2
3/16	リスクマネジメントの考え方	松本智和	療 13、希 5、根 4、リ 6

療：八太郎山療護園、希：希望ヶ丘、二：第二希望ヶ丘、へ：八太郎山の家ヘルパーステーション、
看：八太郎山の家訪問看護ステーション、そ：八太郎山の家そうだん室、根：障がい者デイサービス根城の家、リ：リアンジュ、デ：デイサービスセンター桔梗野の家、グ：グループホーム桔梗野の家、

3 各種会議状況

全職員を対象とした職員会議、介護部門でケア会議、看護部門で看護会議、給食部門で給食会議をそれぞれ月 1 回実施した。役職者を対象としたサービス調整会議を 3 ヶ月毎、その他入所判定会議を不定期に実施した。

第2表 障がい者支援施設 八太郎山療護園

1 生活相談

①生活介護契約者状況（在宅利用者）

【年齢】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	3	0	0	6	2	11
女性	0	1	1	1	0	0	3
合計	0	4	1	1	6	2	14

- ・男性平均年齢：50歳5ヶ月
- ・女性平均年齢：34歳7ヶ月
- ・全体：47歳3ヶ月
- ・最年少：26歳3ヶ月（男性）
- ・最高齢：67歳9ヶ月（男性）

【身体障害者手帳等級】

	1種1級
男性	11
女性	1
合計	12

【愛護手帳】

	A
男性	2
女性	3
合計	5

【精神障害者保健福祉手帳】

	1
男性	0
女性	0
合計	0

【障害程度区分】

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	2	1	10	13
女性	0	0	0	3	3
合計	0	2	1	13	16

- ・平均障害支援区分：6.0

②施設入所支援利用者状況

【入居者数及び性別】

男性	女性	合計
21	19	40

【年齢】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	0	0	3	5	8	4	1	21
女性	1	2	1	6	5	3	1	19
合計	1	2	4	11	13	7	2	40

- ・男性平均年齢：58歳6ヶ月
- ・女性平均年齢：54歳5ヶ月
- ・全体：59歳5ヶ月
- ・最年少：29歳4ヶ月（女性）
- ・最高齢：83歳5ヶ月（男性）

【身体障害者手帳等級】

	1種1級	1種2級	2種1級	2種2級	合計
男性	19	0	0	1	20
女性	17	0	2	0	19
合計	36	0	2	1	39

【愛護手帳】

	A(又は1・2歳)	B(又は3・4歳)	C	合 計
男 性	2	2		4
女 性	3	2	1	6
合 計	5	4	1	10

【障害支援区分】

	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計
男 性	0	2	7	12	21
女 性	0	1	6	12	19
合 計	0	3	13	24	40

・平均障害支援区分：5.5

【入居期間】

	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	合 計
男 性	0	1	3	5	12	21
女 性	1	1	4	5	8	19
合 計	1	2	7	10	20	40

【保険者】

	男 性	女 性	合 計		男 性	女 性	合 計
八戸市	12	12	24	軽米町	1	0	1
三沢市	2	0	2	江東区	0	1	1
平内町	0	1	1	葛飾区	2	0	2
三戸町	0	1	1	町田市	0	1	1
五戸町	2	2	4	清瀬市	0	1	1
田子町	1	0	1				
二戸市	1	0	1				
				合 計	21	19	40

【入退居】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入 居	0	0	1	0	0	0
退 去	1	0	0	0	0	0
男 性	20	20	20	20	20	20
女 性	19	19	20	20	20	20
入居者数	39	39	40	40	40	40
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 居	0	0	0	0	0	0
退 去	0	0	0	0	0	0
男 性	20	20	20	20	20	20
女 性	20	20	20	20	20	20
入居者数	40	40	40	40	40	40

総 評 主任サービス管理責任者 須藤 由紀

生活介護サービス利用での新規受け入れは無く、受け入れ状況については、新型コロナウイルスの影響により休止する事が多くみられ、実習についても特別支援学校より1名のみとなっている。施設入所サービスでは、在宅より1名が入所している。入所者の平均年齢は昨年と比べ若年化しているも加齢に伴う身体機能の低下等により、病院受診の頻度が多くみられた。今後も病院受診や支援の増大が考えられる為、日々の状態観察を行う中で支援方法等の検討や異常等の早期発見に努める事と、他職種間での情報共有、連携しご利用者が安楽に過ごす事が出来るよう支援する。

2 生活支援

①施設入居利用者ADL状況 (令和5年3月31日時点)

				男性	女性	計	
食事	自立			13	10	23	
	一部介助			0	1	1	
	全介助			2	0	2	
	経管栄養			7	8	15	
移動	車椅子	自立		9	10	19	
		一部介助		0	0	0	
		全介助		9	9	18	
	電動車椅子	自立		3	0	3	
排泄	日中	トイレ	自立	3	1	4	
			一部介助	4	3	7	
			全介助	1	3	4	
		尿器	自立	1	0	1	
			一部介助	0	0	0	
			全介助	3	0	3	
	夜間	オムツ	全介助	12	11	23	
			トイレ	自立	2	1	3
				一部介助	0	0	0
		全介助		0	0	0	
		尿器	自立	1	0	1	
			一部介助	0	0	0	
	全介助		3	0	3		
		オムツ	全介助	18	18	36	
		膀胱留置カテーテル使用		2	1	4	
	入浴	一般浴	自立		0	0	0
一部介助				1	2	3	
全介助				0	0	0	
リフト浴		自立		0	0	0	
		一部介助		4	0	4	
		全介助		3	4	7	
シャワー浴		一部介助		1	0	1	
		全介助		0	0	0	
特浴		全介助		13	13	26	
着脱	自立		1	1	2		
	一部介助		4	4	8		
	全介助		17	14	31		

②事故発生件数

事故区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
転落	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	6
誤嚥・誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚剥離	1	2	0	0	1	1	3	1	2	0	1	2	14
誤与薬	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
服薬確認ミス	1	1	1	1	0	0	0	2	0	3	0	0	9
抜去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創傷・擦過傷	2	1	1	2	4	1	1	0	0	1	1	3	17
食中毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
暴行行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行方不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者同士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所事故 (骨折等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内出血・打撲	0	3	3	5	3	3	3	2	3	2	1	1	29
他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	4
私物・施設物品破損	0	1	1	1	0	0	3	2	3	2	0	2	15
吸引ミス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
ヒヤリハット	3	2	3	4	2	2	3	7	2	3	2	3	36
計	9	12	10	14	11	7	15	17	11	12	7	13	138

安全委員会 主任生活支援員 田端 麻理子

前年度までご利用者の整容に関する意識が低く、特に爪トラブルの知識不足により爪切りミスによる切創事故が多かったが、今年度は整容の取り組みを強化し、定期的な爪ケアと電動ヤスリ等を活用することで爪切りによる事故がなくなった。

今年度も転倒、転落事故が8件あった。職員は積極的に小さな気づきからのヒヤリハットを多く挙げていたが、それが活用されず転倒事故を未然に防ぐ事が出来なかった。安全委員会による検討と対策が甘く、また、全職員が周知するまでに時間がかかっていた事が原因の一つと考えられる。次年度はその反省点として繰り返す事故や、危険性が高いもの、ヒヤリハットであがった内容を更に掘り下げてより具体的な対策をたてる必要がある。また、新たな取り組みとして特に注意が必要な事例に関しては、すぐに全職員に周知されるようにホワイトボードを活用し、徐々に効果が現れている。

重大な骨折事故に関しては、改めて利用者様の身体状況を考慮したケアが求められ、研修や勉強会を随時開催し、アクシデントの減少を目指したい。

③余暇活動参加状況 (上段:実施回数・下段:参加者数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
カラオケ	回数	6	8	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	人数	39	67	32	14	0	0	0	0	0	0	0	0	152
創作活動	回数	4	14	3	2	3	2	7	6	7	3	7	10	68
	人数	6	33	8	2	10	4	11	33	45	10	17	33	212
動画鑑賞	回数	17	33	14	28	18	24	34	19	26	27	37	25	302
	人数	49	78	45	92	40	72	104	54	53	69	84	112	852
塗り絵	回数	5	8	4	8	2	6	9	8	5	4	12	10	81
	人数	8	9	4	8	2	7	16	8	6	10	13	16	107
テーブルゲーム	回数	10	13	9	5	7	20	16	13	7	14	11	9	134
	人数	74	65	50	17	37	111	75	48	29	66	35	33	640
脳トレ	回数	0	4	3	1	0	4	2	9	6	3	8	2	42
	人数	0	11	21	1	0	7	2	9	6	3	11	2	73
おやつ作り・行事	回数	2	2	0	2	0	1	1	4	1	2	2	0	17
	人数	23	22	0	39	0	14	24	29	31	28	39	0	249
読み聞かせ	回数	12	15	13	17	4	11	26	10	17	7	13	14	159
	人数	15	24	15	33	4	16	16	11	22	7	16	15	194
その他	回数	5	1	3	4	1	0	8	7	9	9	11	2	60
	人数	23	2	6	13	13	0	8	22	9	12	11	2	121

※その他 散歩・テレビ鑑賞・行事など

余暇・広報委員会 主任生活支援員 田端 麻理子

コロナによる閉塞感や感染の不安感が増す中、少しでも気分を和らげ、安心した暮らしと楽しみを提供しようと、「八太郎山プチ祭り」「芋煮会」「ハロウィン」「クリスマス」「新年会」等様々なイベントを用意した。また、毎月おやつ作りやテイクアウト等、ご利用者から要望が高い食に関する取り組みも欠かさず行った。また、外出制限が続く中であったが、感染者が下火になったタイミングを逃さず、ドライブ外出や、買い物外出を行い、ご利用者から満足の声を頂いた。また、季節毎に趣向を凝らした装飾で園内を明るく彩り、安らぎの場を提供した。

④年間行事

園内装飾		行 事	おやつ作り・他
4月	イチゴ	花 見	どら焼き
5月	雨だれ	燕島外出	バナナパフェ
6月			フルーツポンチ（七夕）
7月	ハイビスカス	八太郎山プチ祭り	
8月	パイナップル		冷たいフルーツジュース
9月	コスモス	秋の芋煮会	テイクアウトメニュー提供 （ガスト）
10月	コウモリ・クモ	ハロウィンイベント	餃子の皮ピザ
11月	紅葉	買い物外出	
12月	クリスマス	クリスマスイベント	お寿司の日（実演）
1月	節 分	新年会	テイクアウトメニュー提供 （幸楽苑）
2月	ひな祭り	豆まき	バレンタインチョコバナナパフェ
3月	桜		鍋会食

〈広 報〉

- ・ 広報誌…年3回（7月/11月/2月発行）
- ・ web広報…年3回（5月/9月/12月）
- ・ 臨時広報…年2回（9月/3月発行）

年度計画の目標の評価

① 安心して生活ができる支援の強化

適宜、支援員としての知識向上とスキルアップのための研修を行い、ご利用者の障害の理解を深め、より利用者目線に合わせた支援が出来るよう努めた。コロナ感染拡大時には、職員の感染予防対策の強化と施設内に持ち込まない為のルールを徹底し、感染拡大を未然に防ぐことが出来た。利用者一人一人のライフステージを尊重し、看取りケアの実施、それに対応する職員の研修を行った。

② 権利擁護の取り組み

ご利用者の尊厳を考える取り組みとして、年3回「虐待の芽チェックシート」を活用した振り返りを行った。また、毎月の虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会、ケア会議ではご利用者の権利侵害にあたる行為がないか話し合い、あった場合は改善に向けて迅速に対応した。

③ 行事・余暇活動の充実を図り、施設生活に楽しみの機会を増やしていく

外出制限がある中、少しでも気分を和らげるため様々なイベントを提供した。また、毎月おやつ作りやテイクアウトを行い、ご利用者からのリクエストにも応えた。感染状況を見極めながら、ドライブ外出や買い物外出を行い、ご利用者から満足の声を頂いた。

④ 福祉機器の導入

多くの場面でそれぞれの状況に応じた福祉機器の活用が定着した。しかし未だ一部の介助では職員の力による介助が続いている。今後、職員が身体的負担を理由に離職することはがないよう、本気で現状を変えていく意識が必要である。

⑤ 働きやすい環境作りと人材育成に取り組む

職員それぞれのライフステージに合わせた働き方を尊重することで、既存の職員や新人職員が定着した。また、職員間やご利用者との関係性をいち早く情報収集し、トラブルが悪化しないように話し合いを適宜行った。外部の研修の積極的な参加を勧め、中堅職員となる意識と決意を持ってもらい、意欲向上を図った。

3 医療状況

(単位：人)

(1) 受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長谷川内科胃腸科医院	9	10	9	8	9	10	15	9	7	9	10	10	115
たものき歯科	10	9	9	10	9	10	7	8	4	6	4	8	94
八戸泌尿器科医院	4	2	1	1	2	4	2	2	4	2	2	4	30
青森労災病院													
救急外来													0
神経内科	2	1		3		2		1	1	3	1	1	15
泌尿器科				1						1			2
整形外科	1	1			1		2	5	2	2	1	1	16
消化器内科			1		1				1		1		4
血管外科	1												1
心臓外科						2							2
八戸市民病院 外科		1				2	1			1			5
耳鼻科					1		1			1			3
整形外科		1						1		1	1	2	6
脳外科					1								1
内分泌糖尿病科		1	1		1		1		1	1		1	7
消化器科	1			2						1	1		5
心臓血管外科			1										1
救急外来		1	1	1						1	1		5
循環器科					1			2		1			4
赤十字病院 歯科				1	5								
精神科	5			2	4	4	3	5	3		3	3	32
神経内科	2	1	1	1			1	1		1	1		9
泌尿器科	2	2		2		1				1			8
眼科												1	1
形成外科										2	1	2	5
メディカルコート八戸西病院													
内科				2	2		1						5
泌尿器科		1			1		1						3
脳外科	1				1				1				3
湊病院			1	1	1	1	1		1	1			7
岸原病院			1		1	1		2		1		1	7
東八戸病院			1		1	1		2		1		1	7
八戸平和病院			1		1			1			1		4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
はかまだ耳鼻咽喉科医院												1	
馬場町眼科	1					1	1			1			4
八戸整形外科				1									1
山崎眼科											2		2
高橋皮膚科					1								1
きく皮膚科									1		3	1	5
合計	27	26	24	40	28	26	37	40	25	30	26	23	

(2) 入院日数

(単位：人)

入院日数	2週間未満	～1ヶ月	1～2ヶ月	2ヶ月以上	計
人数	3	2	2	0	6

(3) 歯科往診状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
歯科治療	0	0	0	0	0	0	3	4	9	9	9	9	43
口腔ケア	0	0	0	0	0	0	0	6	12	15	15	15	63

(4) 処置状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検温	1,140	1,198	1,170	1,219	1,231	1,180	1,240	1,187	1,240	1,239	1,090	1,225	14,359
血圧測定	357	383	371	367	382	348	387	357	382	377	344	378	4,433
経管栄養	434	454	420	444	465	450	465	450	465	465	410	465	5,387
吸引	255	268	240	281	294	270	279	270	279	279	252	279	3,246
気切部処置	150	155	150	160	186	180	186	180	186	186	168	186	2,073
胃瘻部処置	261	299	270	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,570
尿留置カテーテル交換	5	6	3	2	2	1	2	2	4	2	2	2	33
導尿	30	31	30	31	31	30	31	30	25	24	8	23	324
浣腸	29	28	30	26	27	25	21	26	34	30	27	21	324
排便	8	6	12	15	22	20	20	13	19	15	11	14	175
坐薬（便秘時）	69	73	66	69	80	77	78	66	71	83	64	70	866
軟膏・創処置	58	70	60	71	93	120	120	124	124	122	128	124	1,214
点眼薬	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
点滴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採血	0	5	3	2	3	37	3	1	3	2	0	2	61

総評 看護師 田名部 るり子

今年度は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため、嘱託医の回診はオンラインで継続している。歯科往診は10月から再開となっており、月に1回継続している。療護園では、ご利用者の新型コロナウイルス感染・インフルエンザの発生は無かった。引き続き感染対策を徹底していく。

スタッフやご家族の新型コロナウイルス感染があったが、スタッフで協力し勤務を遂行でき
 * 今後も、ご利用者の健康管理、排便コントロール等を、生活支援員・管理栄養士・リハビリスタッフと共に多職種連携にて実施していく。また、ご利用者の異常に早期に発見出来るよう判断力の向上の為、自己啓発に努めると共に、ご利用者に信頼される医務室であるよう努力していく。

4 機能訓練実施状況

① リハビリテーション総合実施計画書の作成～リハビリテーション実施～リハビリテーションカンファレンス実施

- (1) ご本人の希望、ご家族の希望、一般情報、心身機能・構造、活動（FIM および基本動作 移動能力、認知機能）環境因子、社会参加の状況を総合的に評価し、リハビリテーション目標（長期・短期）、リハビリテーション方針・プログラムの立案を行う。
 - (2) (1) をご本人もしくはご家族に対し説明し、同意を得た上でサインをいただく。
 - (3) (1) について概ね3ヶ月毎に多職種と情報共有を行った上で見直しを行い、リハビリテーションの質の向上を図る（リハビリテーションカンファレンス実施）。
- 以上（1）～（3）を繰り返すことで、リハビリテーションの質の確保や向上に努めた。

② リハビリテーションの実施

- (1) 実施対象者：入所利用者 41 名、外部生活介護利用者 14 名
- (2) リハビリテーション実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設入所	516	422	257	312	375	359	331	414	496	426	368	492	4,768
外部生活介護	74	104	58	59	18	76	86	97	85	62	105	132	956
口腔嚥下	15	14	1	10	10	9	11	15	15	12	16	19	147
全体	605	540	316	381	403	444	428	526	596	500	489	643	5,871

(単位:回)

③ 福祉機器の新規導入・メンテナンス

	新規導入	メンテナンス	合計
車いす	3	20	23
装具	2	0	2
その他福祉機器	3	3	6
	8	23	31

(単位:件)

専門業者と連携し、福祉機器の新規導入の他、メンテナンスを速やかに実施し安全に生活を送れるように支援した。車いすのメンテナンスは、同一ご利用者へ同様の内容で複数回提供されることもあり、日頃の福祉機器の正しい使用方法の指導の必要性が示唆される。

④ 内部研修の実施

「腰痛予防」「麻痺側管理」「ポジショニング」をテーマに多職種向けの研修を実施した。

また、月に1回、八戸圏域リハビリテーションスタッフ内で勉強会を実施し、業務に必要な知識の習得、スタッフ間のコミュニケーションを図った。

総 評 副主任理学療法士 下館 麻未

今年度は、日常業務に加え多職種連携やチーム内勉強会等ご利用者へより良い支援を提供する為の取り組みに努めた。今後は、法人内のどの事業所においても利用者本位のサービス提供、質の高いサービスが安定して行えるよう事業所間におけるリハビリテーション専門職の密な連携体制をより強化していくことが重要と考えられる。

7 給食諸状況

①喫食者の人数と食事形態状況

40名					
主食	御飯	18	副食	常食	10
	御粥	6		一口大	5
	おにぎり	0		一口大1/2	1
	パン	0		粗刻み	5
	その他	1		極刻み	3
				ミキサー	1
		ソフト	0		
経管栄養			15		

②行事食実施日及び実施献立

月	日	行事	献立名
4	17	お花見	お花見膳、すまし汁
5	22	セレクトメニュー	味噌ラーメン、やわらか鶏唐揚げ、洋梨のコンポート
			醤油ラーメン、やわらか鶏唐揚げ、洋梨のコンポート
6	12	セレクトメニュー	海鮮醤油ラーメン、焼き餃子、白桃のコンポート
			海鮮塩ラーメン、焼き餃子、白桃のコンポート
7	7	七夕	七夕めん、星ハンバーグ、南瓜寒天寄せ、ヤクルト
	21	土用の丑の日	穴子のひつまぶし風井、小盛り蕎麦、筑前煮、白桃のコンポート
	22	夏祭り	焼きそば、豚汁、おにぎり、唐揚げ、焼き鳥、すいか
8	15	お盆膳	五目御飯、冷しそば、天ぷら、野菜の煮しめ、わらびのお浸し、あずきプリン
9	25	セレクトメニュー	味噌ラーメン、やわらか鶏唐揚げ、洋梨のコンポート
			醤油ラーメン、やわらか鶏唐揚げ、洋梨のコンポート
10	1	開園記念日	ちらし寿司、すまし汁、金目鯛と豆腐のふんわり天、さつま芋の白和え、茶碗蒸し、季節の和菓子
11	27	お寿司イベント	寿司(鯛、サーモン、海老、卵)、巻き物(2種)、すまし汁、豚肉と大根のやわらか煮、杏仁豆腐〜マンゴーソース〜
12	24	クリスマス	ピラフ、かぼちゃスープ、チキンチーズカツレツ、シーフードサラダ、クリスマスケーキ
	31	大晦日(年越し膳)	御飯、ミニ年越しそば、刺身、かき揚げ、茶碗蒸し
1	1	正月膳	赤飯、すまし汁、金目鯛の焼魚、煮しめ、紅白なまり、さんどん、紅白かまぼこ、伊達巻、鶏の八幡巻き、黒豆、子和え、みかん
2	3	節分	黒豆御飯、せんべい汁、いわしハンバーグ、すき昆布の煮物、ツナサラダ
	19	リクエストメニュー	スパゲッティ、チキリタン、コンソメスープ、サラダ、抹茶プリン
3	3	桃の節句	ちらし寿司、すまし汁、鶏つくね、菜の花のお浸し、湯葉の海老包みあん、ひなゼリー
	12	リクエストメニュー	お好み焼き、牛肉と野菜の中華風スープ、トマトサラダ、ビタミンドリンク
	30	リクエストメニュー	御飯、味噌汁、牛バラ焼き、ほうれん草の和え物、バナナ
12	24	クリスマス	ピラフ、かぼちゃスープ、チキンチーズカツレツ、シーフードサラダ、クリスマスケーキ
	28	お寿司イベント	握りずし(鯛、サーモン、えび、鮪、巻物)あさりのすまし汁、豚肉と大根のやわらか煮、揚げ麺サラダ、栗ぜんざい
	31	大晦日(年越し膳)	御飯、ミニ年越しそば、刺身(まぐろ、甘エビ、サーモン)かき揚げ、茶碗蒸し

月	日	行事	献立名
1	1	正月膳	海鮮ちらし、いちご煮、野菜のなめ茸かけ、お祝いケーキ
	7	人日の節句	七草粥 朝食に提供
	11	鏡開き	お汁粉 おやつ時に提供
2	3	節分	御飯、味噌汁、イワシハンバーグ、白菜炒め、ごまドレサラダ
	14	バレンタインデー	ハートプリン 夕食に提供
3	3	桃の節句	ひなちらし寿司、お吸い物、鶏肉の漬け焼き、野菜つみれの煮物、ほうれん草のお浸し

③栄養出納表

月	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食物繊維 (g)	カルシウム (mg)
4月	1826	67.6	36.2	299.0	16.7	746
5月	1839	66.1	37.3	299.0	20.0	784
6月	1848	66.2	37.8	301.4	19.4	779
7月	1843	66.6	37.3	299.8	19.3	779
8月	1846	66.4	36.5	302.3	19.4	789
9月	1849	67.1	37.2	301.2	19.6	789
10月	1857	66.7	37.5	302.4	19.7	789
11月	1855	67.1	38.2	300.0	19.6	778
12月	1858	67.4	37.6	301.7	19.5	702
1月	1853	66.7	37.5	300.9	19.7	781
2月	1850	65.9	37.4	302.1	19.8	819
3月	1857	70.1	37.9	297.1	19.6	803
平均	1848	67.0	37.4	297.0	19.4	778
基準量	1900	58.0	52.8	283.0	19.0	702

月	鉄 (mg)	レチノール当量 (μg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	塩分 (g)
4月	10.5	894	1.43	1.36	117	6.9
5月	10.2	916	1.60	1.47	132	7.2
6月	10.1	855	1.47	1.34	123	7.1
7月	10.2	905	1.62	1.49	134	7.1
8月	11.3	881	1.60	1.47	136	7.1
9月	11.4	885	1.56	1.44	136	7.1
10月	11.1	914	1.61	1.47	147	7.2
11月	10.7	909	1.61	1.47	132	7.2
12月	11.4	1054	1.80	1.66	148	7.1
1月	10.7	1008	1.70	1.57	142	7.2
2月	10.8	968	1.68	1.51	142	7.0
3月	11.4	935	1.80	1.69	168	7.2
平均	10.8	927	1.62	1.50	138	7.1
基準量	7.8	796	1.21	1.36	100	7.1

④栄養ケアマネジメント (R5.3データ)

栄養状態	性別	18～29歳	30～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
低リスク	男		1	2	4	1	11
	女			1	2		
中リスク	男		1	8	1		21
	女	1	3	3	3	1	
高リスク	男			1	1	1	8
	女		1	3	1		
合計		1	6	18	12	3	40

- ・BMI (24.5以上：5人 全体の12.5%) (16.0以下：5人 全体の12.5%)
 - ・血清アルブミン値 (3.0～3.5g/dℓ：15人 全体の37.5%) (3.0g/dℓ以下：6人 全体の15.0%)
- 高リスク者の内訳として、血清アルブミン値が3.0g/dℓ以下(6名)と体重変化率が10%以上(2名)が原因であった。

R4. 12. 20健康診断の結果、喫食者全体の約7割の方がアルブミン値が低下していたことを踏まえ、R5. 3から蛋白質の基準値を70g/日に増量して次回健康診断まで様子を見ていくことにした。対応としては食材で補うことは不可能なので一番安価ですぐに対応可能な方法として基本朝食と夕食の汁にプロテインパウダーを添加している。蛋白質の不足だけが原因であるとは限らないが、①食事摂取率は良好でアルブミン値が低下した方が12名、②副食の食事摂取率が75%以下で蛋白質が摂取出来ていない可能性がある方が4名、③肝機能の影響を受けている可能性がある方が10名で①と③に関してはいずれにしても蛋白質の増量が有効な可能性がある。低栄養の場合、アルブミンの他にヘモグロビンやHDLコレステロールの低下もみられるようになるので、蛋白質の他に鉄や鉄の吸収を高めるVCも過不足ない様に補助食品で調整をしている。また、栄養素の中でもカルシウム・鉄・食物繊維・ビタミンB1・ビタミンB2・ビタミンCが不足することが多いのでこちらも補助食品で調整をしている。

体重変化率が10%以上であったご利用者については1名は経管栄養の方で体重増加が原因で提供量の調整をしてから徐々に減少傾向にある。急激な体重減少にならない様に経過観察をしていく。もう1名は偏食のある方で好まない食材は代替えを提供しているものの食事摂取量は3～4割であった。個別に購入している物や処方のエンシュアは比較的摂取されているので体重が増加したものと考えられるが、今後は量の調整を検討し体重の維持に努めていく。(評価：管理栄養士 根城道子)

総 評 調理主任 村山 宗久

2, 3月に2名の調理員が桔梗野の家とリアンジュへ異動となった。また3カ所へのヘルプもあり思った程の余裕もなくセレクト食は月1回程に減ってしまった。残食量は4.6kg～4.8kg平均だったが、3月だけ5.3kgととりわけ多い結果となった。内容としては、八宝菜、和え物、酢の物などの残食量が多く、今後も残食量が増えていくようであれば、献立の見直しなど検討していかなければならない。物価の高騰によると思われるが、使っている食材の種類の減少などが、ご利用者の飽きを生んでいるかもしれない。4月からは調理員が増員され、ヘルプの回数も減ることになるため、リクエストメニュー(嗜好調査による、ご利用者が食べたい料理)の回数などを増やしたりすることで、ご利用者が食事を楽しめるよう努めていきたい。また4月からクックチルの値上がりに対応するため軟食を全て常食で発注し、厨房でそれぞれの形態に加工することにする。

第3表 短期入所部門 八太郎山療護園

1 利用者諸状況

【年齢】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	0	6	2	1	3	0	1	13
女性	0	7	5	1	4	0	0	17
合計	0	13	7	2	7	0	1	30

男性平均年齢：37歳3ヶ月

女性平均年齢：34歳3ヶ月

全体：35歳2ヶ月

【身体障害者手帳等級】

	1種1級	1種2級	合計
男性	13	0	13
女性	9	1	10
合計	22	1	23

【愛護手帳】

	A	B
男性	5	2
女性	5	2
合計	10	4

【障害支援区分】

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	1	1	12	14
女性	0	0	4	1	5	7	17
合計	0	0	4	2	6	19	31

・平均障害支援区分：5.3

【利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	59	58	46	64	35	45	
1日平均(人)	2.0	3.0	1.7	1.6	1.8	1.5	
稼働率(%)	32.8%	49.5%	28.3%	26.3%	29.6%	25.6%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	56	49	57	57	64	64	54.5
1日平均(人)	1.8	1.6	1.8	1.8	2.2	2.1	1.9
稼働率(%)	30.1%	27.2%	30.6%	30.6%	36.8%	34.4%	31.8%

総評 主任サービス管理責任者 須藤 由紀

今年度は、相談支援事業所より、男性3名、女性3名の新規契約者となっているが、内2名については冠婚葬祭時等急を要する際の利用希望となっており、現在まで利用には至っていない。又新型コロナウイルスの影響により、受け入れ休止や利用キャンセルがあるも、他事業所の短期入所受け入れ休止やご家族の事情により、昨年の稼働率30.5%から31.8%とやや増加している。今後も継続して感染予防対策を行いながら、ご利用者やご家族のニーズに応える事が出来るよう支援、又新規契約に繋がる事が出来るよう相談支援事業所等との連携に努めていく。

第4表 児童通所部門 児童デイサービスセンター希望ヶ丘

1 利用者諸状況

①【延べ利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	158	150	182	148	141	158	146	139	120	105	142	130	1719

②【1日平均利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6.0	5.7	7.0	5.6	5.4	6.0	5.6	5.3	4.6	4.0	5.9	5.0	5.5

③【利用者状況】

年齢	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男	0	1	2	1	0	3	0	0	0	0	1	0	8
女	1	2	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	7
計	1	3	3	1	0	6	0	0	0	1	2	1	15

2【年間行事】

月	名 称		名 称	
4月	お花見		10月	ハロウィン祭り
5月	端午の節句		11月	秋のお楽しみ会（マリエント）
6月	ミニ運動会		12月	クリスマス会
7月	七夕の集い		1月	新年会
8月	夏のお楽しみ会		2月	節分
8月	まるごと馬場のぼる展鑑賞		3月	ひなまつり会
	毎月：誕生会			

総 評 児童発達支援責任者 清水 隆弘

昨年と比較して延べ利用人数 463 人下回った。はまなす療育福祉センターへの長期入院や、新型コロナウイルス感染症の罹患や利用自粛等の影響であった。

八戸市外の利用児童については長期休みや祝日を利用していなかったが、児童の保護者から子供が希望ヶ丘を利用したいとの希望があり対応した。

園内行事の他にテイクアウトでの昼食会や八戸市内の感染状況やリスクが低い場所にドライブや美術館の企画展に行った。

希望ヶ丘で機能訓練を実施している児童については、理学療法士も療育面談に入り訓練の実施状況や評価について情報の共有を図った。

来年度は、新規利用が増える見込みとなっており、新型コロナウイルスも5類になる事で安定した利用になると思われる。感染症対策を継続しながら、楽しんで利用して頂けるよう努めていく。

第6表 居宅介護支援・相談支援部門 八太郎山の家そらだん室

1. 利用者諸状況

①介護保険

【介護度別】

		要支援 事業対象	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	合計
4月	男	1	3	12	7	4	6	33	60
	女	7	10	6	2	0	2	27	
5月	男	1	2	13	7	4	6	33	61
	女	7	9	6	4	0	2	28	
6月	男	1	2	13	7	4	6	33	60
	女	6	9	5	5	0	2	27	
7月	男	1	2	12	8	4	6	33	60
	女	6	9	5	5	0	2	27	
8月	男	1	2	12	8	4	6	33	57
	女	5	8	5	5	0	1	24	
9月	男	1	2	12	9	4	6	34	57
	女	5	7	5	4	1	1	23	
10月	男	1	2	12	9	4	7	35	57
	女	5	7	5	4	0	1	22	
11月	男	2	2	8	9	6	7	34	57
	女	6	7	5	4	0	1	23	
12月	男	2	2	7	9	6	7	33	56
	女	6	6	5	5	0	1	23	
1月	男	2	2	8	8	6	7	33	56
	女	6	7	5	4	0	1	23	
2月	男	2	2	9	10	5	5	33	56
	女	6	7	5	4	0	1	23	
3月	男	2	0	10	10	4	5	31	55
	女	6	8	5	4	0	1	24	

【年齢別契約者数 (委託含む)】

年齢	男	女	
40歳～	2	1	
50歳～	2	1	
55歳～	0	0	
60歳～	5	0	
65歳～	7	2	
70歳～	5	4	
75歳～	2	0	
80歳～	5	3	
85歳～	2	3	
90歳～	1	10	
合計	31	24	55

(令和5年3月末)

【保険者別】

市町村	男	女
八戸市	29	24
おいらせ町	0	1
五戸町	0	1
合計	29	26

(令和5年3月末)

② 相談支援

【契約者数】

	男	女	
障害者	29	28	
障害児	12	8	
計	41	36	77

(令和5年3月末)

【支給市町村別】

市町村	障がい者	障がい児
八戸市	42	17
五戸町	3	1
六戸町	1	
階上町	2	
南部町	0	2
二戸市	1	
三戸町	1	
洋野町	1	
久慈市	1	
葛飾区	2	
調布市	1	
江東区	1	
町田市	1	
	57	20

【年齢別】

	男	女
18歳未満	11	8
18, 19歳	1	1
20歳～	2	3
25歳～	3	2
30歳～	1	3
35歳～	1	3
40歳～	0	3
45歳～	0	1
50歳～	5	3
55歳～	8	2
60歳～	4	0
65歳～	2	5
70歳～	3	1
75歳～	0	0
80歳～	0	1
計	41	36

総 評 管理者 中島 貴光

令和4年度はスタッフ1名の退職により、9月からは2名体制で介護保険の居宅介護（介護予防）支援や障害福祉サービスの特定相談支援・障がい児相談支援を実施している。居宅介護（介護予防）支援では2月に1名、新規利用者や満65歳での障害から介護保険への移行があるものの、在宅サービスでは困難となり施設への入所（有料やサ高住以外）、老衰や疾病増悪による死去が相次ぎ契約者数が前年度3月と比較し6名減少した。

特定相談支援・障がい児相談支援では、上述にある退職に伴い、業務量の調整やご利用者（ご家族）の希望等を勘案した結果の契約者数となっている。介護保険に加え、障害福祉の計画相談も行えるという当事業所の強みを活かしながら新規利用者を増やせるように業務体制を整えていく。また、研修への参加や情報収集を積極的に行う事でケアマネジメント力を高め、利用者のニーズに沿って、その人らしい自立した生活が送れるように努めたい。

第7表 ヘルパー部門 居宅介護・訪問介護 八太郎山の家ヘルパーステーション

1 利用者諸状況

①利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
居宅介護	利用実人数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20	21	250	20.8
	訪問延件数	968	947	925	881	886	854	945	893	924	923	857	857	10,860	905.0
訪問介護	利用実人数	28	28	28	27	25	28	29	29	29	29	27	28	335	27.9
	利用延件数	1,035	1,050	1,005	995	948	983	1,024	1,075	1,070	970	846	984	11,985	998.8

※併用の方もいる為、入居者数と一致しない場合あり

②年齢 (3/31現在)

年齢	男	女	計
20～24	0	0	0
25～29	1	1	2
30～34	0	0	0
35～39	0	0	0
40～44	0	1	1
45～49	1	0	1
50～54	3	1	4
55～59	5	1	6
60～64	6	0	6
65～69	9	1	10
70～74	5	2	7
75～79	0	0	0
80～84	3	1	4
85～89	2	1	3
90～	0	1	1
計	35	10	45

③自立支援 障害程度区分 (3/31現在)

	男	女	計
区分 1	0	0	0
" 2	0	0	0
" 3	3	0	3
" 4	3	1	4
" 5	2	0	2
" 6	7	3	10
計	15	4	19

④介護保険 要介護度 (3/31現在)

	男	女	計
要支援	0	0	0
介護度 1	0	0	0
" 2	4	2	6
" 3	8	3	11
" 4	5	1	6
" 5	6	1	7
計	23	7	30

総評 主任訪問介護員 西村 貴志

今年度の新規利用は、介護保険3名、居宅介護1名であった。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、デイサービスの利用制限や職員の出勤状況への影響が多くみられ、ご利用者、職員共に感染するクラスターも発生している。感染対策によりストレスを抱えるご利用者も多い為、心身共に注意深く観察を行い、ご利用者一人一人が自分らしく暮らしていけるようサポートを行っていくと共に、引き続き基本的感染対策を徹底し感染症の発生、蔓延防止に努めていきたい。

また、人事異動や退職等により次年度からは新たな体制で業務を行っていくことになるので、事故、サービスの質の低下防止に努めると共に、離職予防への取り組みとして職員の抱える問題の把握、働きやすい環境の整備に取り組んでいきたい。

第8表 訪問看護部門 八太郎山の家訪問看護ステーション

1 利用者諸状況

① サービス利用状況

月	利用者数（人）			延訪問件数（件）			1人当平均訪問件数	
	医療	介護	計	医療	介護	計	医療	介護
4	16	27	43	251	332	583	15.7	12.3
5	16	27	43	256	320	576	16.0	11.9
6	15	27	42	256	323	579	17.1	12.0
7	15	26	41	257	334	591	17.1	12.8
8	15	25	40	255	333	588	17.0	13.3
9	15	26	41	236	340	576	15.7	13.1
10	17	26	43	246	346	592	14.5	13.3
11	17	26	43	224	344	568	13.2	13.2
12	17	26	43	247	359	606	14.5	13.8
1	17	26	43	238	347	585	14.0	13.3
2	17	23	40	220	316	536	12.9	13.7
3	19	24	43	251	355	606	13.2	14.8
計	196	309	505	2,937	4,049	6,986	15.0	13.1

② 利用者状況内訳（3/31現在）

性別	男性	女性						合計
		31	9					
年齢別	～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	85～	40
	13	6	9	6	0	3	3	
介護度別	要支援	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5		28
	0	0	4	11	6	7		
医療内訳	社会保険	労災	生保単独	後期	国保			19
	3	3	2	1	八戸市	おいらせ町	洋野町	

③ 利用者疾患別状況（3/31現在）

疾患名	人数	疾患名	人数
脳血管障害後遺症	21	気管支喘息	2
頭部外傷後遺症	2	癌術後	2
低酸素脳症	2	胆管癌	1
脊髄損傷	1	パーキンソン症候群	1
頸髄損傷	4	アルコール性多発神経炎	1
頸髄症	2	症候性てんかん	10
胸椎骨折・胸髄損傷	1	糖尿病	5
腰椎骨折	1	神経因性膀胱	2
廃用症候群	1	人工肛門造設	1
大動脈解離術後	1	脳性麻痺	5
高血圧	16	精神遅滞	2
心房細動	2	認知症・認知障害	4
慢性心不全	1		

疾患数計 25

④ 指示書を受けている医療機関・医師（3/31現在）

医療機関名	利用者数（人）
長谷川内科胃腸科医院	24
メディカルコート八戸西病院	6
青森労災病院	2
シルバークリニック	1
はちのへファミリークリニック	3
下長内科	1
はちのへ江陽クリニック	1
はまなす医療療育センター	2

⑤ サービス内容

病状観察・バイタルチェック	ストーマ管理
清潔援助	褥瘡処置
服薬管理（服薬セット・投薬介助）	皮膚状態観察・スキンケア
経管栄養管理（経鼻カテーテル・胃瘻）	ADLの把握・リハビリテーション
食事・飲水摂取状況の把握（助言・指導）	環境整備・衛生管理
気管カニューレ管理	医師の指示による注射・点滴
呼吸管理（喀痰吸引等）	精神的支援・コミュニケーション
膀胱留置カテーテル管理	家族の介護相談・療養生活に対する助言・指導
排泄管理（排便コントロール）	緊急時対応
点眼薬・湿布等 処置	医療機関、介護保険事業所等、他事業所との連携他

総評 看護主任 大野 美華子

今年度は有料法人ホームの入退居に伴い、訪問看護サービスの終了者6名、新規契約者4名であった。終了者は入院中のご逝去とお看取りによるもの、長期入院によるものであった。新規契約者は介護保険によるサービス利用・医療保険制度によるサービス利用2名ずつである。今年度は例年よりも入退院者が多く、長期入院に至るケースもあった。これはカテーテル留置による感染症や基礎疾患の憎悪、褥瘡の悪化が挙げられる。日々の観察から異常の早期発見に繋げ、早期に医師へ報告するよう努めていく必要があることを改めて理解した。

また、新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生した。ご利用者・職員両者から感染者が出たことで、ご利用者だけではなく携わる職員にも苦痛を強いることとなり、感染対策徹底の難しさを痛感した。来年度も同様に全職員と協力・連携しながら、感染対策の徹底とサービスの質の向上に取り組んでいきたい。

第9表 身体障害者向け住宅・有料老人ホーム部門 八太郎山の家

1 入居者諸状況

①入退居状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規入居者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	4
退居者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	2	6

②入居者状況（月末日入居者数）

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居実人数	45	45	45	45	44	44	45	45	45	43	43	43	532

③入院者

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院者数	0	2	2	4	3	1	1	1	2	3	2	2	23
延日数	0	16	40	99	89	30	24	12	17	44	39	40	450

④今年度入居前居住状況

単位：人

	障害者施設	特養	老建	病院	在宅	有料	計
男	0	0	0	3	0	0	3
女	0	0	0	0	1	0	1
計	0	0	0	3	1	0	4

⑤退居後の状況

単位：人

	障害者施設	特養	老建	病院	在宅	死亡	計
男	0	0	0	1	0	3	4
女	0	0	0	1	0	1	2
計	0	0	0	2	0	4	6

⑥死亡退居者の死亡場所

単位：人

八太郎山の家	2名	労災病院	1名	日赤病院	1名
--------	----	------	----	------	----

⑦身体障害者手帳所持状況（3/31現在）

単位：人

	1種1級	1種2級	2種2級	2種4級	愛護手帳	計	精神障害者福祉手帳	計
男	26	2	0	1	2	2	0	0
女	5	2	0	0	1	1	0	0
計	31	4	0	1	3	3	0	0

⑧入居待機者状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
申込者数	0	0	1	2	2	2	1	0	1	0	0	1
キャンセル・入居等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
待機者数	8	8	9	11	13	15	16	16	17	17	16	17

⑧事故発生状況

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	9	2	2	3	6	4	8	2	5	2	5	1	49
市へ報告	0	1	0	1	0	1	1	0	1	2	0	0	7

⑨事故別件数

単位：件

転倒/転落	ケア	誤嚥・誤飲	自損・自傷	配薬	チューブ類抜き	無断外出
16	7	1	0	2	2	1
深爪、爪刺がれ	私物管理	原因不明の外傷	食事提供	書類管理	その他	合計
3	1	1	6	3	7	49

⑩ヒヤリハット

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1	4	6	2	2	9	7	4	5	1	7	5	53

2 年間行事

実施日	行事	場所	参加人数
4月19日	花見外出	新井田公園	5名
4月21日	花見外出	新井田公園	7名
5月19日	外食行事（テイクアウト）	食堂ホール	29名
9月21日	BBQ大会	玄関前	全入居者
10月20日	紅葉ドライブ	南郷方面	5名
10月24日	紅葉ドライブ	館鼻方面	4名
11月7日	外食行事	ラビア	3名
11月7日	外食行事	食堂ホール	4名
11月16日	外食行事（テイクアウト）	食堂ホール	16名
2月3日	節分豆まき会	ステーション前ホール～食堂ホール	全入居者
3月3日	ひなまつり会	喫茶コーナー	全入居者

総評 主任訪問介護員 西村 貴志

今年度の入退居状況については、退居者6名入居者4名と例年に比べ動きの多い年であった。退去者6名中5名が1月以降に集中しており、新規利用者の入居を進めていきたい。

行事においては昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響が多くみられており、職員の出勤停止や、デイサービスの利用見合わせ等様々な制限の下、中止や規模縮小を余儀なくされたが、感染対策を講じながら可能な限り様々なイベントを行うことによってご利用者のストレス軽減に努めることが出来たと考えている。来年度も引き続き感染予防を徹底し、ご入居者が少しでも気分転換でき、楽しめるような行事を計画し実施していきたい。

研修においても新型コロナウイルスの影響により実際に現地に赴いての外部研修への参加の機会は少なくなっているが、オンライン研修を活用することにより昨年度と同様、様々な研修に参加することが出来た。来年度も研修委員会が中心となり、職員の希望する知識や技術の習得の後押しができるよう努めていきたい。

事故については、骨折や警察が出勤する重大な事故が発生した。部会を中心に検討を深め今後の予防対策を徹底していきたい。

3 給食諸状況

①喫食者の人数と食事形態状況（3/31現在）

入居者		43	名		
主食	御飯	28	副食	常食	20
	御粥	4		一口大	10
	軟飯	2		小一口大	
	ミキサー粥			粗刻み	1
				刻み	1
				極刻み	2
				ミキサー	
経管栄養			9		

②行事食実施日及び実施献立

	行事	献立名
4月17日	お花見弁当	いなり寿司（花仕様）、天ぷら盛り合わせ、炊き合わせ、いかしゅうまい、酢の物、桜餅、漬物、すまし汁
5月5日	端午の節句	ピラフ、エビフライ、サラダ、こいのぼりゼリー、コーンスープ
7月7日	七夕膳	七夕そうめん、竹輪天、さつまいも天、枝豆腐、白玉あんみつ
8月15日	お盆	赤飯、煮しめ、茶碗蒸し、黒糖まんじゅう、すまし汁
9月10日	お月見	栗御飯、さわらの黄身焼き、豆腐のそぼろ煮、みたらし団子、味噌汁
9月19日	敬老の日	赤飯、金目鯛の煮付、茶碗蒸し、抹茶ケーキ、すまし汁
9月25日	弊社創立記念日	レーズンパン、クリームシチュー、ポテトサラダ、創立記念ケーキ
10月4日	秋の味覚膳	きのこ御飯、秋刀魚の塩焼き、さつま芋の甘煮、さつま芋の甘煮、洋梨缶、いものこ汁
10月31日	ハロウィン	チキンライス、パンプキンシチュー、アスパラサラダ、かぼちゃ餅
11月21日	寿司の日	握り寿司、茶碗蒸し、抹茶ケーキ、すまし汁
12月24日	クリスマス	ピラフ、エビフライ、ハンバーグ、ナポリタン、スモークサーモンサラダ、クリスマスケーキ、オレンジジュース
12月31日	大晦日	バラちらし、天ぷら盛り合わせ、茶碗蒸し、みかん、年越しそば
1月1日	正月祝膳	赤飯、おせち盛り合わせ、煮しめ、大根なます、寅年饅頭、すまし汁
1月7日	七草	御飯、七草粥、鯖の塩焼き、胡麻和え、漬物、味噌汁
2月3日	節分	太巻き寿司、五目大豆煮、おはぎ、つみれ汁
2月14日	バレンタインデー	オムライス、ハートのコロケ、エビフライ、海藻サラダ、チョコパバロア、コンソメスープ
3月3日	ひな祭り	ちらし寿司、金目鯛の塩焼き、ひな饅頭、すまし汁

③栄養出納表

月	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	食物繊維 (g)	カルシウム (g)
4月	1791	64.7	48.9	282.0	13.1	527
5月	1735	61.9	47.9	272.0	12.9	502
6月	1762	64.3	49.3	273.4	12.2	516
7月	1780	63.5	50.9	274.7	12.3	521
8月	1793	63.3	51.2	278.5	13.0	522
9月	1760	63.5	48.0	277.0	12.8	523
10月	1773	64.7	50.3	273.9	12.8	546
11月	1770	64.8	48.7	276.1	12.5	491
12月	1802	66.2	50.1	279.9	12.7	534
1月	1786	66.0	48.5	279.8	13.2	539
2月	1766	64.3	50.2	272.8	13.0	518
3月	1774	64.4	50.7	273.1	12.4	511
平均	1,774	64.3	49.6	276.1	12.7	521
基準量	1,976	60.0	54.9	296.0	20.0	716

月	鉄 (mg)	レチノール当量 (μg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	塩分 (g)
4月	6.9	737	1.06	1.16	82	7.2
5月	6.6	662	1.05	1.09	75	7.1
6月	6.8	658	1.04	1.09	81	7.1
7月	6.4	795	1.13	1.16	89	7.1
8月	6.8	689	1.02	1.17	82	7.2
9月	6.9	709	1.04	1.16	80	6.9
10月	7.3	600	0.97	1.12	75	6.9
11月	6.8	639	1.02	1.10	69	7.3
12月	7.3	853	1.20	1.32	102	7.3
1月	7.2	798	1.07	1.16	82	7.4
2月	6.6	606	0.91	1.04	69	7.1
3月	6.9	840	1.14	1.31	87	7.2
平均	6.9	716	1.05	1.16	81	7.2
基準量	7.5	826	1.23	1.40	100	7.3

総 評 管理栄養士 小笠原 桂子

昨年引き続き外出が出来なかった状態のため、毎月の行事食は利用者様にとっても喜んで頂ける献立になっている。来年度は外出の機会が増えると思われるが、引き続きご利用者に喜んで頂ける献立の作成をお願いしたい。栄養価は、タンパク質以外は基準値を下回る結果となった。塩分がほぼ基準値か、それより少ない結果であったのは高血圧予防などに効果的であるため、今後も続けていけるようお願いしたい。カルシウム、食物繊維、鉄など、便秘や貧血、骨粗鬆症の予防に欠かせない成分が、基準値より少ない。特にカルシウムは吸収率が悪い成分であるため、毎日の献立に意識的に組み込んでもらいたい。

第10表 老人通所部門 デイサービスセンター桔梗野の家

1 利用者諸状況

① 介護度別利用状況

上段：実人数、下段：延人数

月	要支援1・2 事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4	5	17	14	3	2	1	42
	20	142	102	7	11	7	289
5	6	16	14	3	3	1	43
	28	136	104	7	11	7	293
6	5	16	15	2	4	1	43
	23	140	100	18	12	2	295
7	5	16	15	2	5	1	44
	11	81	67	10	12	0	181
8	6	18	15	2	5	0	46
	19	91	75	8	10	0	203
9	6	17	15	0	4	0	42
	23	130	101	0	15	0	269
10	6	17	13	1	5	0	42
	24	130	90	3	25	0	272
11	6	16	14	1	4	0	41
	27	112	89	5	25	0	258
12	7	18	14	1	4	0	44
	32	95	97	4	19	0	247
1	7	17	14	1	4	0	43
	17	76	84	4	5	0	186
2	6	17	15	1	4	0	43
	20	99	103	4	15	0	241
3	6	15	15	1	3	0	40
	24	78	91	4	13	0	210
計	71	200	173	18	47	4	513
	268	1.310	1.103	74	173	16	2.944

②1日平均利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	11.1	11.3	11.3	11.3	7.8	10.3	10.5	9.9	9.1	7.2	10.0	7.8

③平均介護度(※総合事業対象者含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
介護度	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6

④苦情受付状況 年間通して 0件

⑤事故・インシデント

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒・転落	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥・誤飲	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	7
計	0	2	2	0	2	0	0	3	0	1	0	1	11

2 運営推進会議開催状況(※感染症対策の為、書面の配布にて実施)

開催日	8月10日	2月8日
参加人数※職員除く	6名	6名

3 年間行事

月	日	行事名	内容	参加人数
4	18. 19. 21	お花見ドライブ	南部山公園・いちよう公園	35名
	22. 23	手作りおやつ会	いちご大福(桔梗野の家ホール)	19名
5	12. 13	新緑ドライブ	北インター自然公園	24名
	27. 28	春の庭園散策	屋外散歩・散策(八太郎山療護園)	19名
6	17. 18	梅雨ドライブ	下田公園・いちよう公園	20名
	27. 28	買い物外出	ユニバース桔梗野店	13名
7	6. 7	七夕会	短冊作成等(桔梗野の家ホール)	23名
	22. 23. 25. 26	音楽発表会	*感染症流行により中止	-
8	11・12	青果訪問販売	*感染症流行により中止	-
	27. 29	夏祭り	ゲーム・かき氷等(桔梗野の家ホール)	19名
9	15. 16	手作りおやつ会	カレー焼きポテト(桔梗野の家ホール)	24名
	20. 21	敬老会	長寿の表彰等(桔梗野の家ホール)	18名
10	20. 21	買い物外出	ユニバース桔梗野店・ジョイス八戸石堂店	12名
	24. 25	秋の庭園散策	屋外散歩・散策(八太郎療護園)	15名
11	18. 19	芸術鑑賞外出	*感染症対策により中止	-
	29	室内運動会	体操・各種競技(桔梗野の家ホール)	11名
12	6	室内運動会	体操・各種競技(桔梗野の家ホール)	8名
	22. 23	クリスマス忘年会	サンタの登場等(桔梗野の家ホール)	17名
1	2. 3	お正月遊びの会	かるた・福笑い等(桔梗野の家ホール)	10名
	26. 27	手作りおやつ会	アップルパイ(桔梗野の家ホール)	16名

3 年間行事

2	2.3	節分豆まき会	豆まきゲーム他(桔梗野の家ホール)	19名
		えんぶり鑑賞会	*感染症対策により中止	-
3	3.4	ひな祭り会	雛祭りクイズ他(桔梗野の家ホール)	18名
	10	訪問販売	移動スーパーとくしまる(玄関前駐車場)	8名

総評 管理者 金子 舞

今年度の利用実績として、年間延利用者数 2,944 名。月平均 245 名となっており、昨年と比較すると、月 75 名の大幅な減となった。昨年同様、感染症の流行が続いたこともあり、年間を通して新規の利用相談数も伸び悩んだ。また、新規利用が数名ずつコンスタントにあった期間においても、それを上回る終了者や長期入院等による休止者が多くあったことが、利用者数減少の大きな要因と思われる。また 7 月には、事業所内において職員・ご利用者合わせて 10 名の新型コロナウイルス感染を確認。やむを得ず、約 2 週間の休業措置をとることとなり、ご利用者及びご家族には、大変なご迷惑・ご心配をおかけすることとなってしまった。これを受けて、事業所の感染対策を見直し、更に強化。職員全員が周知徹底し、対応を継続した。また、毎日の検温や健康チェック表の記入、体調不良時の自宅安静・様子観察等、ご利用者・ご家族にもたくさんのご協力を頂き、8 月以降、事業所内での感染症拡大なく、安全に事業所運営ができたことを心より感謝している。

今年度も、ショートステイを主サービスとすご利用者や、自宅での介護が困難となり、長期入院や施設入所の為、利用終了となるケースが非常に多く見られた。独居や、高齢者のみの世帯も多く見られ、在宅生活を継続する難しさや、ご家族の介護負担軽減の重要性を強く感じる 1 年であった。

年間行事については、感染症対策を徹底しながら、ほぼ予定通りに実施することができた。外出・訪問系行事も、場所や時間、少人数ずつ実施するなど工夫することで可能とし、ご利用者に楽しみを提供することができた。また、事業所内で実施する、夏祭りや敬老会、クリスマス忘年会は、毎年恒例であるが、少しずつ内容に変化を持たせながら、職員もご利用者と一緒に楽しみ、盛り上げることができた。毎日の余暇活動、レクリエーション活動については、委員会担当者を中心とし、内容の見直しを実施。マンネリ化を防ぐこと、個別対応に力を入れて取り組むことができた。それぞれのご利用者に合わせ、楽しみながら心身の活性化に繋げられる活動行うことができた。

地域活動としては、悠々サロンや地区・町内活動の場として、デイホールを開放。また、地域行事の清掃活動や夏祭りへの参加が恒例となっていたが、感染症対策のため、一昨年・昨年に引き続きほぼ全ての活動が中止となった。交流機会は大幅に減少しているものの、徐々に感染症対策も緩和されてきている為、その時々状況に合わせてながら、可能な範囲で地域との繋がりを計っていきたい。

これまで、通所介護事業所として可能な限り、求められるニーズに応え、ご利用者・ご家族が、1 日でも長く住み慣れた地域、自宅での生活を継続することができるよう、安心と信頼の事業所づくりに努めてきた。令和 5 年 4 月末にて、デイサービスセンター桔梗野の家は事業を一時休止することとなり、大変残念に思うが、これまでご利用下さった皆さま、地域の皆さま、各関係機関の皆さまに、心から感謝し、高齢者事業、通所事業のみならず、今後の秋葉会の発展に職員一同尽力していきたい。

第 11 表 認知症型共同生活介護部門 グループホーム桔梗野の家

1 利用者諸状況

①利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	262	279	270	266	270	270	279	270	279	279	252	269	3,245
平均	8.7	9	9	8.6	8.7	9	9	9	9	9	9	8.6	8.9

②入退居状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居者数	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	4
退居者数	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4

③入院空室状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院者数	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	4
空室日数	11	0	0	0	15	1	0	0	0	16	0	0	42

④年齢別

	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～
男	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	2	4	2	1

最高 101 歳 最小 80 歳 平均 88.4 歳

⑤要介護度・認知性老人の日常生活自立度判定区分状況

自立度 介護度	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	計	平均
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.2
要介護 1	0	1	1	0	0	0	0	2	
要介護 2	1	1	0	1	0	1	0	4	
要介護 3	0	0	1	0	1	0	0	2	
要介護 4	0	0	1	0	0	0	0	1	
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	

⑥通院状況

診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内科	8	8	9	14	11	10	9	10	10	8	8	9	118
整形外科	0	0	0	0	3	2	0	0	0	2	1	2	2
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急外来	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
脳神経外科	0	1	1	1	0	0	1	0	2	0	1	2	0
計	14	15	25	14	17	12	13	12	16	13	14	13	178

歯科は往診対応

⑦外出・外泊状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個別外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13
家族対応	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	7
買い物 ドライブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

外出に個別ケアを取り入れ一対一で対応（新型コロナウイルス感染予防の為、自粛）

⑧面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	10	13	14	11	10	11	10	12	17	19	19	15	161

月平均 13.4 名 オンライン面会も含む

⑨医療連携状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問指導	4	5	6	4	5	5	5	5	6	5	5	6	61

協力医月 1 回往診

⑩運営推進会議開催状況（職員は除く）

開催日	4/20	6/8	8/10	10/12	12/14	2/8
参加人数	6	6	6	6	6	6

新型コロナウイルス感染予防の為、参集せず書面配布で開催

⑪事故・ヒヤリハット

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒転落	2	2	1	2	5	1	2	1	2	1	1	1	21
誤薬	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
内出血痕	3	4	0	7	3	2	7	3	7	0	3	1	40
擦り傷	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	4	1	10
その他	0	1	0	2	3	1	4	2	0	0	1	0	14
計	6	9	1	11	11	4	14	7	9	2	9	3	86

8月1月八戸市へ事故報告あり

⑫苦情・相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 年間行事

月日	行事内容	人数	月日	行事内容	人数
4/17	お花見ドライブ	9	9/25	ぶどう狩り	7
5/29	階上岳ドライブ	9	10/23	紅葉ドライブ	9
6/22	サクランボ狩り	5	11/18	外食会	9
6/29	サクランボ狩り	4	12/25	クリスマス会	9
7/7	流しそうめん	8	1/11	初詣・新年会	9
8/21	夏祭り	7	2/3	節分・豆まき	9
9/18	敬老会	9	3/3	ひな祭り（スイーツバイキング）	9

総 評 管理者 中村 いく子

利用状況は4月8月3月と入退居があり、要介護度の平均は2.2と自立度が高くなっている。その事もあり、出来るだけ自分の力を発揮できるように支援する事を心掛けた。居室の掃除、洗濯物干し、洗濯物たたみ、調理など一人ひとりの生活歴をもとにそれぞれ得意としてきたことを役割をもって参加してもらい、残っている能力を発揮しながら生活意欲に繋げることやご利用者一人ひとりの気持ちを大切にしながら出来るだけ自分のペースで過ごせるように支援できた。

また、7月8月3月に3名の方の看取りを行い、職員一人ひとりが考え、寄り添い最期を看取ることができた。8月と1月には転倒による骨折事故が2件あり、八戸市へ事故報告している。事故防止の為に日頃の小さな変化を見落とさないようにし、職員間で情報共有していきたい。ご家族には2ヶ月に1回発行の広報誌やLINEで普段の様子や行事の写真を送ることでご利用者の様子を伝えたり、面会では対面での面会をしてもらうことでご利用者本人やご家族も安心できたと喜んでいる。地域交流は新型コロナウイルス感染予防の為、交流の機会が減ってしまっている。今後は地域に出かけ、交流を活発にしていきたい。職員のスキルアップはグループホームに求められる認知症ケアを重視し、技術、知識向上に努めたい。

第12表 生活介護事業部門 障がい者デイサービス 根城の家

1 利用者諸状況

【障害支援区分別】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	213
5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
3以下	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	58
計	25	26	28	28	28	28	28	28	28	29	29	29	334

【月別利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
延数	294	307	312	329	322	315	323	314	283	287	286	336	309
人/日	12.3	12.8	13.0	13.7	12.9	13.1	13.5	13.1	11.8	12.0	14.3	13.4	12.9

【平均障害支援区分】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
区分	5.2	5.3	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2

【年齢別】 ※以下、令和5年4月30日現在

年齢	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-65	65以上	計
男性	1	5	1	0	5	1	1	14
女性	1	6	2	1	1	1	1	13
計	2	11	3	1	6	2	2	27

【保険者別】

	八戸市	六戸町	五戸町	三戸町	計
男性	12	1	2	1	16
女性	12	0	1	0	13
計	24	1	3	1	29

【身体障害者手帳所持状況】

種・級	1-1	1-2	1-3	2-3	2-4	2-5	計
男性	11	1	1	2	1	0	13
女性	11	0	0	0	0	2	13
計	22	1	1	2		2	26

【愛護手帳所持状況】

	A	B	計
男性	4	1	5
女性	9	0	10
計	13	1	14

【精神障害者手帳所持状況】

	1級	2級	計
男性	0	0	0
女性	0	1	1
計	0	1	1

1. 生活支援

サービス利用計画の内容に応じて個別支援計画に記載し、内容への反映としている。在宅生活を継続していく上で、心身の健康状態を保ちご家族の介護負担の軽減に向けて実施している。ご本人・ご家族の声として、入浴の回数増加や祝日の振替利用の要望が聞かれている。受け入れ定員等の状態により可能な範囲での対応を行っている。事業所単体でそのニーズを十分に満たせない場合については、相談支援事業所等との連携により、生活全体の計画の視点での検討に協力をしている。今後とも利用者・ご家族との話せる関係性をより構築していく。

2. 余暇活動・行事・機能訓練の充実

理学療法士を中心として、日常生活の中での動作にフォーカスをしたりハビリを行っている。計画書に基づいて訓練を行っており、昨年同様に訓練の様子をリハ通信でお知らせしている。ご家族からも大変喜ばれている。

余暇活動については、個々に応じた内容の実施としている。感染症対策を行いながら、外出行事等を実施する事が出来ている。

3. 利用者数の増加

利用者数は月別利用者数参照。令和4年2月のリアンジュ開設に伴い、根城の家単体で見た場合の利用人数に余裕が出来ている。リアンジュ開設以降の新規利用は6名となっている。又、根城の家も含めた各事業所のコロナ対応の中で、一時的な受け入れの協力を図りながら在宅支援に努められた事で、大きな利用人数の減少を軽減する事が出来ている。こうした対応については、今後も継続して福祉サービスの連携強化に努めていきたいと考える。

今後の受入れとしては、今後も養護学校や相談支援事業所との繋がりが新規利用の獲得となる。

4. 職場環境の整備

人を育てられる人材育成の一つとして、根拠を持って説明が出来ることを目標として取り組んでいる。日常の介助動作の目的を言葉にする。その事を意識する事で、職員相互の理解や介助の不安、ご利用者の細かな変化における情報共有に向けている。自然と職員が自信を持ってサービスを提供することとなり、育てられる人材の育成が図られてきている。

退職者削減の為、面談等の機会を利用して職員の抱えている課題の把握に努めている。

事業形態から、非常勤職員の割合が高い。職員個々の背景に歩み寄った働きやすさが、現在の法人全体の職員、これから採用になる職員に対する雇用の拡大に貢献できるものとする。長所をリスペクトしお互いさまの風土が、今日の退職者の少ない根城の家の土台となっている。

退職要因として上位にあがる人間関係・身体的負荷・収入・福祉職としてのやりがい等において、ハラスメント対策や福利厚生への提案、福祉機器の導入、資格取得への支援体制に継続して取り組む事で、現場に根ざした働きやすい環境を維持する事が出来る。

第 13 表 地域生活支援事業部門

日中一時支援事業 八太郎山療護園

(受託事業：八戸市、おいらせ町)

1 利用者諸状況

①【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人数	2	3	3	2	2	3	2	3	3	3	3	3	2.6
延人数	3	6	9	6	5	10	5	7	6	7	10	9	6.9

②【1日平均利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	1.5	2.0	3.0	3.0	2.5	3.3	2.5	2.3	2.0	2.3	3.3	3.0	2.5

③【利用者状況】

性別	年齢				計
	26歳	27歳	28歳	29歳	
男	2	0	0	0	2
女	0	0	0	1	1
計	2	0	0	1	3

総 評 サービス管理責任者 須藤由紀

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、受け入れの休止や利用キャンセルがあるも、昨年より平均利用者数がやや増加している。今後も継続して感染対策予防を行いながら、入浴サービスや楽しんで頂けるような活動等の実施、又ご利用者やご家族のニーズの把握に努める事と随時相談に応じながら支援していく。

第 14 表 地域生活支援事業部門

日中一時支援事業 児童デイサービスセンター希望ヶ丘

(受託事業：八戸市、おいらせ町、五戸町、三沢市)

1 利用者諸状況

①【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人数	2	2	3	3	3	3	4	3	3	3	3	4	5.4
延人数	5	5	8	12	12	9	15	13	13	12	12	15	10.9

②【1日平均利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4

③【利用者状況】

性別 \ 年齢	年齢			計
	6歳	11歳	27歳	
男	1	0	1	2
女	1	1	0	2
計	2	1	1	4

総 評 児童発達支援責任者 清水 隆弘

延べ利用人数が前年度より6人増加した。令和4年6月で児童発達支援を廃止し、日中一時支援での利用となった。これまで通り個別の課題や余暇活動等を継続しサービス提供を行った。

第15表 生活介護事業部門 障がい者デイサービス リアンジュ

1 利用者諸状況

【障害支援区分別】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
区分6	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	127
5	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	29
4	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20
3以下	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	16	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	188

【月別利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
延数	141	150	161	147	151	152	187	172	173	182	169	190	165
人/日	5.9	6.3	6.7	6.1	6.0	6.3	7.8	7.2	7.2	7.6	7.7	7.6	6.9

【平均障害支援区分】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
区分	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.4

【年齢別】 ※以下、令和5年3月31日現在

年齢	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-65	計
男性	4	3	2	2	1	0	12
女性	0	1	1	2	0	0	4
計	4	4	3	4	1	0	16

【保険者別】

	八戸市	階上町	計
男性	11	1	12
女性	4	0	4
計	15	1	16

【身体障害者手帳所持状況】

種・級	1-1	1-2	計
男性	10	2	12
女性	4	0	4
計	14	2	16

【愛護手帳所持状況】

	A	B	計
男性	5	1	6
女性	3	0	3
計	8	1	9

【精神障害者手帳所持状況】

	1級	2級	計
男性	0	0	0
女性	0	0	0
	0	0	0

総 評 管理者 松 本 智 和

1. 生活支援

- ・各職種が本人の希望や要望を全てとは言えないが、確認できていると思われる。送迎時等にご家族と情報交換する事により、利用時の対応へ反映する事も出来ている。

2. 余暇活動・行事・機能訓練の充実

- ・余暇活動として、創作活動やカードゲーム、テーブルゲーム、カラオケ等を個別若しくは少人数で実施した。参加されている方の満足度は高いと思われる。今年度は枝豆やキュウリ、パプリカ、ゴーヤ、ジャガイモ、ネギ等の家庭菜園を行い、児童と一緒に沢山の収穫を楽しむ事ができた。
- ・行事に関しては施設内行事としておやつ作りを企画し、チーズケーキやバナナチョコ作り等を取り入れた。また、児童と一緒にパーベキューやハロウィンパーティー、クリスマス会、えんぶり鑑賞も取り入れ、交流を図りながら楽しむ事も出来た。感染症対策を行いながら、お花見ドライブや紅葉ドライブ等、外出行事も取り入れ普段とは違った時間を過ごして頂く事が出来ていた為、来年度も取り入れていく。
- ・機能訓練に関しては、上期に関しては職員の体調不良や異動があり落ち着かなかったが、下期になり、体制も整い提供する事が出来ている。訓練士指導のもと生活支援員が出来る自主訓練や身体機能の維持・向上に関する取り組みに関しては、まだまだ取り組める事があると考えられるため、継続していく。

3. 利用者数の増加

- ・利用者数は月別利用者数参照。コロナ関連により、人の動きが少なかったと考えられる。実習に関しては、お互いに感染症対策をしっかりと行う事により受け入れが出来ていた。(上期5名、下期6名)相談支援事業所からの問い合わせにより体験利用からの利用開始の流れは継続出来ている。

4. 職場環境の整備

- ・デイサービスという限られたサービス提供時間の中で、いかにご利用者の満足度を高める事が出来るか、職員にとってもいかに働きやすい職場に出来るか、一人一人が考えていかなければならない。
- ・内部研修に参加する事により知識や情報共有を行っている。厚生労働省等の感染症対策資料、状況や必要に応じた情報や資料を回覧や伝達する事により様々な対応を行っている。

第 16 表 児童通所部門 多機能型通所支援事業所 リアンジュ

1 利用者諸状況

① 【延べ利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	173	171	180	181	209	195	180	177	172	207	205	232	2282

② 【利用者状況】

年齢	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男	0	0	1	0	1	2	1	2	0	3	1	0	11
女	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	7
計	1	1	1	0	1	2	1	4	0	4	2	1	18

2 【年間行事】

月	名 称		名 称	
4月	お花見外出		10月	ハロウィンパーティー
5月	こどもの日の集い		11月	秋のお楽しみ外出
6月	ミニ運動会		12月	合同クリスマス会 イルミネーション見学
7月	七夕の集い		1月	新年の集い
8月	縁日ごっこ		2月	リアンジュ開設1周年記念 節分の集い
9月	夏のきもだめし大会		3月	ひな祭りの集い 春のドライブ外出
	毎月：誕生会			

総 評 児童発達支援管理責任者 神山 智美

今年度は前年度と比較し、延べ 508 人上回った。入浴・送迎サービスの充実を図ることで利用が定着したと考える。利用状況は、登録人数は延べ 18 名、1 日 8 名～10 名の児童が利用している。体調を大きく崩す児童もおらず、コロナ禍が継続していた中でも屋外活動などを出来る限り取り入れ充実したサービス提供時間を設けることに努めた。今年度 1 名の児童が卒業となるも新規利用児童 3 名獲得、その他、利用曜日の追加希望などもあった。来年度も安定した平均利用人数の維持に努めていく。療育活動では、継続した創作活動に取り組んだ。児童がアイロンビーズで制作したキーホルダーを進級・卒業のお祝いのプレゼントとして利用児童全員に配布することで、職員、ご家族以外の関わりが生まれ、褒められたり、声を掛けられたり、又はカバンに創作したキーホルダーを飾っているのを目の当たりにする事で創作する喜びを存分に味わうことが出来る根拠ある創作活動となった。その他、日常生活動作の向上を目指し、手の巧緻性を高めることをねらいとしたプットインやマッチング、手指動作をメインとして、個々の特性や発達段階に応じた自立課題を継続して提供した。

今後も、感染対策の徹底と療育支援の充実を図り、児童が活動的に過ごせる場であるよう安心、安全に配慮していくと共に、本人・保護者のニーズを把握しつつ、サービス向上に努めていきたい。